

市民協働課長
まちづくり推進課長
地域政策課長 殿
都市計画課長
地域福祉課長

会 場 専 用

日経東発第60024404号
令和7年6月18日

一般社団法人 日本経営協会
理事長 引野 隆志

NOMA行政管理講座開催(ご案内)

協働型行政の課題と解決

～住民・ボランティア・NPOとのパートナーシップ作りと協働の方法～

<令和7年11月10日(月)・11日(火)>

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の事業活動には、平素より格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、これからの自治体の政策実現、地域社会の発展のためには、住民と行政の協働が欠かすことのできない要素です。まちづくり、環境対策、福祉事業、災害対策など、さまざまな地域課題に住民と行政がともに取り組み、地域社会を発展させていくことが求められています。

そこで、「協働型行政の課題と解決」というテーマのもとに、住民・NPO・ボランティア活動と行政のパートナーシップ作りや行政のサポートの方法など、事例を議論することで、今後の協働型行政の研究を深めたいと思います。また、併せてワークショップの手法を学ぶことにより、住民と行政の協働のまちづくりの進め方について考察します。

時節柄、ご多忙の折とは存じますが、この機会にご担当者多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬 具

本講座は地方自治体職員の方を対象としています。

記

(12:30から受付)
日 時：令和7年11月10日(月) 13:00～17:00
11月11日(火) 10:00～16:00

講 師：自治体活性化研究会 代表
一般社団法人生活福祉研究機構 専務理事 大石田 久宗氏
三鷹市健康福祉施策特別アドバイザー

実施方法：日本経営協会内専用教室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11
(住友不動産新宿南口ビル 13階)

参 加 料：会員(1名) 36,300円(税込)
(負担金) 一般(1名) 39,600円(税込)

申込方法：本会ホームページから講座名を検索していただき、お申込みください。

※令和6年度より、FAXでのお申込みは廃止いたしました。

・講座開催日の約1か月前より順次、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。

・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。

・お申込みは5営業日前までお願いいたします。

・本講座は会場ご参加者のみです。定員になり次第締め切らせていただきます。受付状況は、本会ホームページからご確認ください。

入金方法：参加料は、請求書にもとづき銀行振込にてお納め下さい。領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承下さい。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。

開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。

なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承下さい。

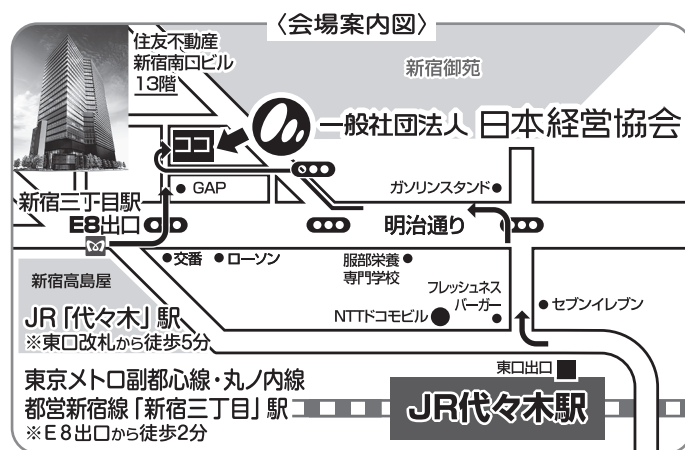
そ の 他：参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

お申込み
お問合せ先



一般社団法人 日本経営協会

(お問合せは平日の月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いいたします)



本部事務局 企画研修グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-31-11

TEL (03) 6632-7139

E-mail: tks@noma.or.jp

URL <http://www.noma.or.jp>

協働型行政の課題と解決（グループワークショップ）

～住民・ボランティア・NPOとのパートナーシップ作りと協働の方法～

▶プログラム◀

○職員を悩ます3つの壁

○市民と行政の協働はなぜ必要

○協働とはどのような関係

○職員のあるべき姿

1. 3つの壁

1) 市民の壁

2) 組織の壁

3) 政治の壁

2. 市民と行政の関係の歴史的变化

1) 対立から参加へ

（フローからストックへ）

2) 参加から協働へ

（ストックからリレーションへ）

3) 協働から自治型社会へ

（リレーションからガバナンスへ）

ワークショップ 事例1

鍵を川に落とした大学生が市に助けを求めた

（昼休みに公園管理担当に電話が）

3. 地域コミュニティと市民活動の変化

1) 交流型コミュニティの形成

2) 課題解決型コミュニティ

3) 自治型コミュニティ

4. 協働とはどのような関係か

1) 協働の要素

2) 協働の類型

3) 協働の関係づくりの悩み・課題

ワークショップ 事例2

リモートワーカーが子どもの声がうるさいと

公園に張り紙

5. 事例検討

ワークショップ 事例3

NPOと町内会が託老施設の運営で対立

ワークショップ 事例4

施設利用の条件が厳しすぎて市に苦情（使ったらトイレ掃除、茶碗の茶渋落としまで言われた）

ワークショップ 事例5

証明がすぐにももらえないと窓口で怒鳴り声が（印鑑登録がすぐにはできず、証明をもらえないと市民の怒りが爆発）

ワークショップ 事例6

農業公園の建設で議員に首にしてやると脅された（ひろばとして開放していた土地に農業公園を建設することで反対運動）

ワークショップの進め方

①全体で事例説明

②各グループに分かれて自己紹介、発表者、司会者選出

③各自選択肢を選んで理由を述べる

④グループとして意見をまとめる

⑤全体会でグループごとに発表

6. これからの自治体職員

1) 職員の能力開発

2) 組織・職場の課題と改革

3) 政策判断と議会

4) 相対的信頼者市民を増やそう

7. 質疑応答・情報交換

8. まとめ

少子高齢社会の市民の暮らし、尊厳を守る
～地域社会弱者への重層的支援～

連絡事項

◆本講座では、講師の編著『自治体職員かく生きる（一般社団法人生活福祉研究機構、2019年）』をテキストとして配布いたします。

※当日は最新の情報を反映する等、予告なく一部内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。

※令和6年度より、FAXでのお申込は廃止いたしました。

下記URLよりお申込みください。

<https://www.noma.or.jp/seminar/tabid/138/Default.aspx>

NOMA 講座

検索

NOMA
NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION